

平成15年9月8日
原子力安全対策課
(15-60)
<21時10分記者発表>

新型転換炉ふげん発電所での火災警報の発報について

(新型転換炉ふげん(新型転換炉;定格電気出力16.5万kW)は、
平成15年3月29日に運転を終了した。)

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

本日9月8日17時06分頃、「トリチウム除去装置建屋」の火災警報が発報した。
重水精製建屋の排気筒から白い煙が出ているのが確認されている。

現場に立ち入ったところ、同建屋1階に設置されている後置フィルタが黒く焦
げているのが確認されるとともに、ビニールが焦げたような臭いがしているのが
確認された。現在、さらに現場調査を行っているところである。

なお、重水精製建屋排気筒など、放射線モニタの指示に変動はなく、環境への
放射能の影響はない。

重水精製装置、については停止中である。

(9月5日18時20分 記者発表済み)

18時22分に敦賀美方消防組合消防隊5名、自衛消防隊2名、安全管理課1名が
トリチウム除去装置建屋に入域し、18時28分、敦賀美方消防組合により鎮火が確
認された。

今後、火災の発生原因について、調査を行う予定である。

<時系列>

9月1日

11:06 トリチウム除去装置通常運転開始（これまでは定期点検中であった）

9月8日

4:01 トリチウム除去装置の「排気ダクトトリチウムモニタ高高発生」
（原因はノイズによる誤作動であることを確認）

16:21 トリチウム除去装置を手動で停止
（弁点検作業のため。通常動作したことを確認）

16:46 トリチウム除去装置を再起動

17:06 重水精製建屋の火災警報が発報（光電アナログ警報発報）

17:14 トリチウム除去装置を手動で停止（火災警報発報による）
現場作業員は退避

17:20 ふげん発電所事故対策本部設置
当直より119番通報

17:22 重水精製建屋トリチウムモニタ指示値異常なし

17:34 発電課2名と安全管理課2名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）

17:45 後置フィルタおよび接続配管が黒く焦げていることを確認

17:47 自衛消防隊2名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）

17:49 敦賀美方消防組合ふげん発電所到着

17:55 重水精製建屋排気筒から白煙の放出が継続していることを確認

18:22 敦賀美方消防組合消防隊5名、自衛消防隊2名、安全管理課1名がトリチウム除去装置建屋入域（空気呼吸器装備）

18:28 敦賀美方消防組合により鎮火確認（火災扱い）

18:32 火災警報音響停止

18:39 後置フィルタ表面温度確認（約100℃）

20:55 県職員2名がトリチウム除去装置建屋入域

21:03 重水精製建屋排気筒からの白煙の放出は停止していることを確認



(参考) 後置フィルタの状況